

【取組内容①】 撮影した動画を確認・管理し、動画を使った活動につなげる力を育成する。

フリーランニングを目指した技への挑戦

紀の川市立那賀中学校

教科 (保健体育) 単元名 (器械運動：跳び箱 ～バルクール風～)



■ 本時のめあて

- ・マイヴォルトとアクロバット (習得したい技) に挑戦する。

■ 情報活用能力について

- ・撮影した動画を確認・管理し、動画を使った活動につなげる力を育成する。
- ・発想の途中を共有し、自分の考えを深める力を養育する。

■ 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット ・共有ツール ・Web ブラウザ



■ 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○準備運動 ○めあての確認を行う。 「マイヴォルトとアクロバット (習得したい技) に挑戦する」 ・前時の課題を振り返り、今回行う技について再度確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットを活用し、本時の流れを確認する。 ・今回挑戦する技をタブレットで確認する。
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ○各自で、ヴォルトとアクロバットに取り組む。 ・各自、見本動画や美技動画を使って各自活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挑戦した技の練習動画を繰り返し確認しながら活用する。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返りをシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の美技動画を添付

- ① 5つの簡単な7クワット
- ② 初心者編
- ③ ★★技
- ④ ...

ヴォルト

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	32	33	34	35
36	37	38	39	40	41	42

- ①オリエンテーション、ランディング、動画視聴、「やってみたい」ヴォルトや技を見つける
- ②ランディング/ステップヴォルト&スライドモンキー
- ③プレジジョン→ロール/モンキーヴォルト(跳び乗り→跳び越し)
- ④~1「マイヴォルト/アクロバットに挑戦」(とび前転、頭はね跳び、ハンドスプリング・・・)
- ④~2「マイヴォルト/アクロバットに挑戦」(とび前転、頭はね跳び、ハンドスプリング・・・)
- ⑤FREERUNNIG(TANIQ-S)【ランディング、ロール、プレジジョン、ヴォルトの活用と挑戦】
- ⑥バル鬼【ランディング、ロール、プレジジョン、ヴォルトの活用と挑戦】
- ⑦オリジナルENJOYコースとバル鬼 (座学→アイデアをフル活用してコース設定)
- ⑧オリジナルコース①とバル鬼①
- ⑨オリジナルコース②とバル鬼②

走る・跳ぶ・登るといった移動に重点を置く動作を通して、心身を鍛えるスポーツ (運動方法) です。バルクールは日本を含め世界中で様々なスタイルで実践されており、移動術、トレーニングメソッド、パフォーマンス、アート、ライフスタイルや哲学などバルクールの捉え方は多岐に渡る。

基本

ランディング (着地)	ロール着地
①その場でジャンプして静かに着地する	①つま先から着地して膝を曲げて衝撃を抑える
②ジャンプに腕の振りを合わせてリラックスして着地	②片手を地面に付き、肘→肩の順に回転する
③足が付いた後、両手を地面に付き衝撃を吸収する	③進行方向に勢よく立ち上がる
ヴォルト (乗り越える)	ウォールラン (走る)
①しっかりと腕を振り助走をつける	①助走をとり、真上に跳ぶ感覚で壁を蹴る
②片足で踏み切り、片足で着地する	②手で壁を押して上方向の推進力を作る
クライムアップ (登る)	プレジジョン (跳ぶ)
①指の第二関節を壁の角に合わせてしがみつ	①腕を振ってその場で大きくジャンプする
②壁を蹴ると同時に上半身の力で引き上げる	②平面で狙った箇所にジャンプする
③上体が上がった時肘を伸ばして持ち上げる	③障害物から障害物へジャンプする
④片足づつ足を乗せて登る	

リーディングDXスクール事業【実践事例】

紀の川市立那賀中学校

【取組内容①】 自作のテキストを用いてプレゼンテーションのスキルを育成する。

聞き手に内容が伝わるよう英語で話したり読んだりしよう。

紀の川市立那賀中学校

教科 外国語（英語）

単元名 Unit 4 Homestay in the United States（まとめ） / 学び方コーナー2 音読の仕方
New Horizon English Course 2

日時・クラス 10月30日(月) 5限 13:25～ @2年2組

■ 本時のめあて

- ①プレゼンテーションに慣れよう。（2nd TRY） 「思考・判断・表現」話すこと(SP・発表)
- ②聞き手に内容が伝わるよう、海斗のホームステイの体験談を音読できる。
「思考・判断・表現」読むこと（R）

■ 情報活用能力について

- ⑥自作のテキストを用いてプレゼンテーションのスキルを育成する。
- ⑧学習ツールによる情報共有・交流する力を発揮させる。
- ⑨タブレットに音声録音し提出させる。

■ 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・学習ツール ・デジタル教科書 ・表計算アプリ ・電子黒板

■ 本時の展開

	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<input type="checkbox"/> Pair Greeting Talk "What do you enjoy doing when you are free?" <input type="checkbox"/> Words Check <input type="checkbox"/> BINGO	電子黒板 BINGO …⑧ 正しく語句を音読できているか確認 (学習ツール録音提出)
展開 (30分)	<input type="checkbox"/> Presentation (2 nd TRY) ①…思考・判断・表現 (話すこと) Presentation about Dream School. <input type="checkbox"/> Homestay in the United States (Kaito's Case) ②…思考・判断・表現 (読むこと)	Presentation (2 nd TRY) 1)学習ツールスライド表示 …⑧ 2)表計算アプリ 評価シート記入ふり返り Homestay in the United States 1)デジタル教科書 音読確認…聞くこと 2)録音提出 …⑧
まとめ (10分)	<input type="checkbox"/> 4 Corners What is the job's name? 読取事項 + New Grammar CHECK	4 Corners …⑧ 1)学習ツールの共有ノートを使って新出事項を推測する。

Group Presentation : What's your dream School?

Matsuura	①	②	①	②	①	②	①	②	Comment	Comment
Contents (内容)	A	A	A	A	A	A	A	A	高ーク先生が笑ってくれた	
Fluency (スムーズさ)	A	B	A	A	A	A	A	A	途中少しはまってしまったけど、自分の音でもう一回試み、スラスラ読めた	通訳のことを忘れてしまって話を聞いてっ
Eye-Contact (目線)	A	A	A	A	A	A	A	A	たまに顔を真見でいっ方角あった。顔は少しだけ見た	たまに下向いてしまった
Volume (声の大きさ)	A	A	A	A	A	A	A	A	少し声が小さい	声調よりは大きかった
	A: Great B: So-so C: Not so good									

Komori	①	②	①	②	①	②	①	②	Comment	Comment
Contents (内容)	A	A	A	A	A	A	A	A		
Fluency (スムーズさ)	A	A	A	A	A	A	A	A	めっちゃスムーズにできた	ちょっと忘れてたけどスムーズにできた。聞き手も褒められた。
Eye-Contact (目線)	A	A	A	A	A	A	A	A	目線は顔を真見でいっ方角あった	顔を真見でいっ方角あった
Volume (声の大きさ)	A	A	A	A	A	A	A	A	聞こえなかった	聞こえなかった
	A: Great B: So-so C: Not so good									

Yamamoto	①	②	①	②	①	②	①	②	Comment	Comment
Contents (内容)	A	A	A	A	A	A	A	A	高ーク先生が笑ってくれた	高ーク先生が笑ってくれた

What is the job's name?

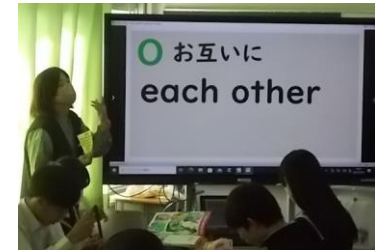
many kids don't like this man.

This man knows how to fix our teeth.

We have to visit this man when our mouth hurts.

This man knows how to clean our teeth.

dentist



【取組内容①】 分類や・整理する力を育成する。 写真や動画を撮る力を発揮させる。

理科 学習指導略案

紀の川市立那賀中学校

- 1. 日時 令和5年(2023年)11月9日(木) 5限
- 2. 場所 理科室 3. 学年・組・人数 1年1組
- 4. 単元 「光・音・力による現象」—「光による現象」

5. 本時の目標と評価規準

- 本時の目標 異なる境界面での光の進み方について関係性を考察し、表現することができる。
- 本時の評価規準 異なる境界面での光の進み方について関係性を比較、検討し、表現することができる。

■情報活用能力について

- ・①写真や動画を撮る力を発揮させる。
- ・②フープソフト基本操作する力を発揮させる。

■活用したICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・学習ツール ・Web ブラウザ ・電子黒板

6. 本時の展開



	学習活動	指導上の留意点	評価規準
導入	前回の授業で、空気とガラスの間で光の進み方が変化していたことを思い出す。	前回の実験の写真などを見せ、どんな結果になっていたか具体的に思い出させる。	
展開	空気とガラスの間での光の進み方について調べる。 「入ってくる光(入射光)」、「境界面で折れ曲がる光(屈折光)」について確認する。 入射光と屈折光の間でできる角度に注目する。 Web サイトを用いて調べる。 (調べたものはスクリーンショットで記録しておく。)	実験の方法を説明する。 タブレットで写真を撮り、記録をしておくように指示する。 班のなかで担当を決めさせる。 ①空気→ガラス ②ガラス→空気 時間があれば他の条件の場合(水など)の場合も調べる。	実験結果から、異なる境界面での光の進み方について関係性を比較、検討し、表現することができる。
まとめ	ふり返りをかく。		

空気 → ガラス に向かって進む時

角A	10	20	30	40	50	60
角B	10	14	40	28	32	37

気づいたこと
10から60まではだんだん差が大きくなっている

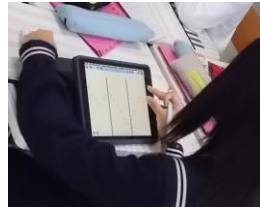
【取組内容①】 表現したい旋律を構成する力を育成する。

歌詞、リズムを活かした旋律を作ろう

紀の川市立那賀中学校

教科 (音楽) 単元名 (創作)

- 本時のめあて
 - ・歌詞やリズムを活かした旋律を作る
- 情報活用能力について
 - ・②表現したい旋律を構成する力を育成する。
- 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等
 - ・学習ツール ・音楽制作アプリ ・電子黒板



■ 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○めあての確認を行う。 「歌詞、リズムを活かした旋律を作る」 ・旋律作りの手順を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板を活用し、旋律作りの手順を確認する。
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ○グループで旋律を考える。 ・1～2小節ずつ音程を付け、音程を確認しながら創作を行う。 ・グループ内で役割分担を決め、協力して進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽制作アプリを使用し、音程を確認しながら創作を進めることができる。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループの進捗状況を紹介し、次の活動へつなげる。 ・本時の振り返りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループの作品を電子黒板で紹介し、旋律作りの工夫を共有する。



4/4

しぜんがた<<さん ながりやうがらう けんげんきて にぎやかて

ミレドシラソファミレドシラソ

C班

しぜんがた<<さん ながりやうがらう けんげんきて にぎやかて

おもしろく ときはにかんせつたり だけどみんな ニコニコ

たのしいよ みんなきてみよう けんぎな ながりやうがらうへ

【取組内容①】 グループの同意形成を図りながら、最終的な結論や納得解を見出す力を育成する。

オームの法則を見つけ、未知の量を求めよう

紀の川市立那賀中学校

教科 (理科) 単元名 (電流と其の利用)

■ 本時のめあて

「法則を見つけ、未知の量を求められるようになる」

■ 情報活用能力について

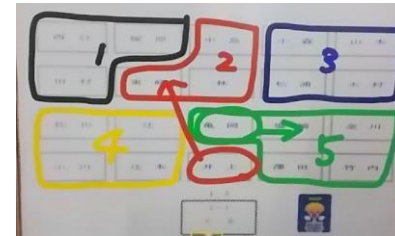
- ・①集めた情報を指示された思考ツールにまとめる力を発揮させる。
- ・②グループの同意形成を図りながら、最終的な結論や納得解を見出す力を育成する。

■ 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・学習ツール ・Web コンテンツ ・電子黒板

■ 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○直列回路・並列回路それぞれの電流と電圧について、復習する。 ○めあての確認を行う。 「法則を見つけ、未知の量を求められるようになる」 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習ツールのテストカード (ゲームモード) 使って、電流と電圧について復習する。
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ○電流と電圧にはどんな関係があるのか Web コンテンツを使って調べる。 ・ Web コンテンツ上で回路を作成して、グループ内で抵抗値を変え、さらに電圧の大きさを変えて電流の大きさを調べる。 ・グループ内の結果から、電流と電圧の関係を考察する。 ・グループでまとめた結論を発表する。 ○オームの法則を使って、プリントの問題に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒たちは、今までの実験から実験のデータは解差が生じやすいことを理解している。Web コンテンツ上では、解差は生まれにくい。 ・学習ツールの共有ノートを使って、抵抗値別 (5Ω, 10Ω, 15Ω, 20Ω) にシンキングツールを使って、データをまとめる。 ・自分の結果からわかる考察とグループのメンバーの考察を照らし合わせ、グループでの結論を導く。 ・電子黒板を用い、ていねいに確認する。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時で学習した内容を振り返りシートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習ツールの自分のノートに保存されている振り返りシートに記入する。



抵抗が5Ω(オーム)のとき		
電圧 (V)	抵抗 (Ω)	電流 (A)
1V	5Ω	0.20A
2V	5Ω	0.40A
3V	5Ω	0.60A
4V	5Ω	0.80A
5V	5Ω	1.20A

抵抗が10Ω(オーム)のとき		
電圧 (V)	抵抗 (Ω)	電流 (A)
5V	10Ω	0.50A
10V	10Ω	1.00A
15V	10Ω	1.50A
20V	10Ω	2.00A
25V	10Ω	2.50A

抵抗が15Ω(オーム)のとき		
電圧 (V)	抵抗 (Ω)	電流 (A)
9V	15Ω	0.60A
10V	15Ω	0.67A
12V	15Ω	0.87A
14V	15Ω	0.93A
16V	15Ω	1.07A

抵抗が20Ω(オーム)のとき		
電圧 (V)	抵抗 (Ω)	電流 (A)
9V	20Ω	0.45A
10V	20Ω	0.5A
15V	20Ω	0.75A
20V	20Ω	1A
2V	20Ω	0.1A

結論
 電流を求めるには $(V \div \Omega = A)$
 電圧を求めるには $(A \times \Omega = V)$ でもとめることができる



【取組内容①】 学習ツールを使っての情報共有・意見交流する力を発揮させる。

社会科 学習指導略案

紀の川市立那賀中学校

1. 日時 令和5年(2023年) 11月 9日(木) 5限
2. 場所 2年1組 教室
3. 学年・組・人数 2年1組
4. 単元 「江戸幕府の成立と対外政策」—『江戸幕府の成立と支配の仕組み』
5. 本時の目標と評価規準
 - 本時の目標
 - 江戸時代の政治制度と大名の統制について、大名配置から理解することができる。
6. 情報活用能力について
 - ・学習ツールを使っての情報共有・交流する力を発揮させる。
7. 活用したICT機器
 - ・タブレット ・学習ツール ・電子黒板
8. 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価規準【評価の観点】
導入	江戸時代は何年続いたかを知る。	教科書P. 114下の年表で確認させる。	
展開	徳川家康が幕府を開き、豊臣氏を滅ぼしたことを知る。 グループで、大名配置図から幕府の大名統制の仕方を話し合い、学習ツールを使ってまとめ、発表する。 大名に対する法度について理解する。	徳川家康や幕府が権力を集中していく経緯を理解させる。 親藩・譜代大名・外様大名の場所から幕府の意図を考えさせる。 武家諸法度の統制と参勤交代の意図を理解させる。	大名配置の資料から、大名統制の方法を読み取って理解している。【知識・技能】
まとめ	評価シートを記入する。	本時の振り返りをおこなうことで、課題の定着をはかる。	



【取組内容①】 集めた情報を分類・整理する視点を自分で設定する力を育成する。

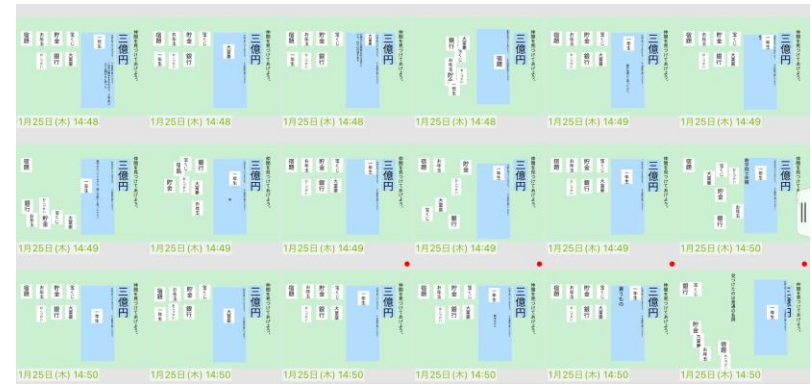
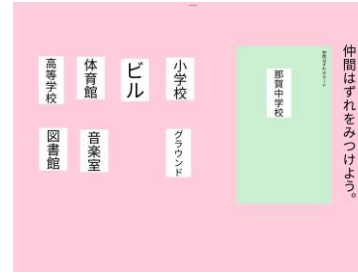
文法学習の可能性 = ∞

紀の川市立那賀中学校

教科(国語) 単元名(名詞)

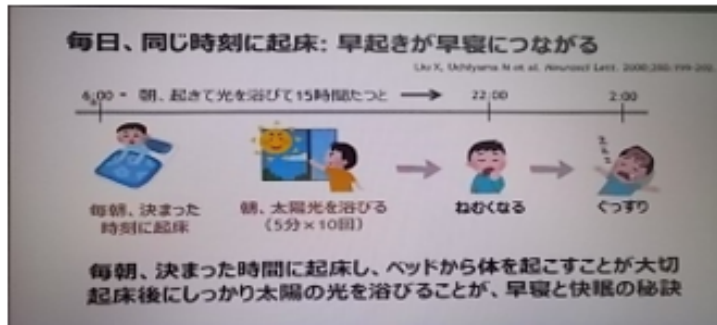
- 本時のめあて
「名前」の種類について理解する。
- 情報活用能力について
 - ・⑤集めた情報を分類・整理する視点を自分で設定する力を育成する。
 - ・⑦ホームポジションを正しく理解し、ノートに鉛筆で書く程度の速さである1分間に40文字程度の文章を入力する力を発揮させる。
- 活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等
 - ・学習ツール ・グループコミュニケーションツール ・電子黒板
- 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・8枚あるカードに示された単語の中から、仲間はずれを見つける。 ・「仲間はずれ」と考えた根拠を聞く。 ・めあての確認を行う。 「名前の種類について理解する。」 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習ツールのカードを活用し、提出箱へ提出。
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ・「ドラえもん」という単語の仲間を見つける。 ・「ドラえもん」という単語の、文法上の仲間をできるだけたくさん書き出す。 ・「三億円」という単語の仲間を見つける。 ・しりとりをし、そこに出てくる単語が名詞であることに気付かせる。 ・「すらすら文法」の名詞の問題に取り掛かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習ツールのカードを活用し、提出箱へ提出。
振り返り (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した内容をアウトプットする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループコミュニケーションツールへ、今日学んだことを簡潔書きでどんどん書き込む。



【取組内容②】 睡眠講座

睡眠講座を実施しました



7月5日(水)に広島大学大学院 人間社会科学研究科 准教授 田村 久先生による睡眠講座をオンライン授業で実施し、全校生徒が受講しました。先生の話によると、中学生では3人に1人が睡眠不足に陥っているようです。また、12%もの生徒が24時以降に寝ているということも調査から明らかになっているとのことでした。寝不足が積み重なって『睡眠負債』が蓄積(脳内の疲労が増えることになる)されると、細かいミスの回数が増えたり、ワーキングメモリーが低下(短期の記憶保持ができない)したり、興味や楽しさを損なわせるといったことが生じるようになるとのことでした。学力や運動能力を高めるには十分な睡眠が必要のようです。大リーガーの大谷翔平選手は、10時間睡眠をとっているとのこと。二刀流も睡眠によって支えられているのですね。受講後、生徒たちは「寝る時刻を現在よりも15分早めてみよう!」という取組を2週間実施しました。2週間で3時間程度睡眠が増えただけですが、日々の生活に何か違いが出たでしょうか?



【取組内容③】 校務の効率化に向けて

校務の効率化に向けて

- ① 職員会議の資料は、タブレットやスマホで参照可能
- ② 職朝の打ち合わせ内容については、タブレットやスマホで参照可能。
- ③ 現職教育を動画撮影することで受けられなかった教員も後日、動画閲覧による研修が可能。

